

## 第6学年 総合的な学習の時間

指導者 長浜市立高時小学校

教諭 瀬邊美奈子

### 1. 単元名 お茶の心を探ろう

### 2. 単元目標

- ・初歩的な茶道の作法を通して、礼儀やマナーを理解し、身につける。 (知識・理解)
- ・季節の花やお菓子、掛け軸の言葉に関心を持ち、「お茶の心」について調べたり話し合ったりする活動を通して、地域のお茶について考えたり、表現したりする。  
(思考・判断・表現)
- ・日本の伝統文化を大切にし、守っていこうとする意欲と実践力をもつ。(主体的に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

旧木之本町は、古代から北陸と近畿を結ぶ文化、経済、政治の要衝の地として発展してきたところである。そして、この高時小学区の高橋地区は、最澄が日本で初めて茶の木を植えた場所として知られている。この歴史的背景を踏まえて、ここに己高庵という茶室が作られ、茶道裏千家淡交会のお家元のご支援で、茶会が開かれるようになった。この茶会事業は、茶道を通して山村と都市の交流を深め、地域の人々がふれあい、併せて地域の振興を図ることを目的として、春に「新緑茶会」、秋には「紅葉茶会」が毎年定期的で開催されている。この会に5, 6年生が参加することで、幼少の子どもから年配者に至るまで世代間の交流が図られる。また、茶道がもつ伝統や文化に触れ、作法を通して茶道のおもてなしの心を学ぶことは、郷土に誇りを持つ心に繋がっている。

そこで茶道体験に取り組みながら、地域のお茶の由来や伝承されているお茶の製法、お茶の先生の茶道への思い、お茶碗作りに込められた思い、作法やお道具のもつ意味などを調べたり考えたりする活動を通して、自分たちの住む地域への理解を深め、地域への誇りと愛着を深めることができると考える。そして、この地に受け継がれているお茶への思いや思いやりの心をこれからも大切にしていこうという意欲と実践力を育てることができると捉えている。

#### (2) 児童観

高時小学校では、茶道を通して地域の人々と心の交流を深めることで、子どもの心に思いやりと優しさを育てようと全校で茶道体験に取り組んでいる。学期ごと1ヶ月から2ヶ月の間毎週1回登校後に和室で抹茶を自分で点てていただく、「朝茶」体験がある。これは1, 6年、2, 3年、4, 5年とペアを組み、教え合い協力し合って静かに心を落ち着け、自分

を見つめる時間となっている。また、1学期には全校で「茶摘み」「手揉み茶」体験をして昔から伝承されている技法を学び、地域の特徴を体感している。この他に全校で「時っ子茶会」を開き、保護者や地域の人に中庭で野点で抹茶をおもてなししている。この機会にお世話になっている方に感謝の気持ちをあらわそうと取り組んでいる。また、「七夕茶会」では、5,6年生が学習の成果を生かして全校を抹茶でおもてなししている。そして2学期には、古橋地区の紅葉祭りに参画し、5,6年生がお茶室で煎茶のおもてなしをしている。ここでは茶摘みをした「たかとき茶」を煎れ、茶道で学んだ作法やお茶の由来やお花などの説明をして学習したことを披露し、保護者や地域の人以外に観光客の方にもおもてなしをして交流を広げている。6年生は、3学期にも「時っ子茶会」を開き、卒業を前に全校に感謝の気持ちを込めておもてなしをしている。下級生は、おもてなしをしてもらうことで茶道の伝統に触れるとともにあこがれの気持ちをもって上級生を見つめている姿がある。

### (3) 指導観

子どもたちは、1年生の頃から朝茶や時っ子茶会の体験をしているので茶道に慣れ親しんでいるが、詳しくは高学年になってから学習が進められる。そこで、まず、「なぜ、高時小学区でお茶が飲まれているのか。」という由来について考える。生活の中の身近な経験や家族の話などを振り返りながら疑問や興味を持ったことや最澄からお茶が伝わったことやお茶摘みや手揉み茶の製法など視点を広げていきながら、意欲的に調べ学習を進めていきたい。そこでは、地域の方から話を聞いたり実際に体験したりすることで苦労や努力を実感したり、長い間継承されてきたことへ感慨を覚えたりするであろう。また、地域への愛着も深めていこう。

次に、茶道を教えていただくお茶の先生やお茶碗作りを教えていただく講師の方に「なぜ、茶道や茶碗作りを学んだのか。」を尋ねて、その歴史的な背景や作法やお道具のもつ意味を知ることによって古くから受け継がれている日本の伝統文化としての意義やよさに気づかされると考える。その上、先生方の茶道や茶碗作りへの熱い思いを聞くことで、人として夢や希望、あこがれをもってその生き方に触れることができるであろう。

そして、秋の紅葉茶会では、高時小学区のお茶で煎茶のおもてなしをすることで、地域に受け継がれているお茶の歴史や茶道で学んだおもてなしの心の大切さ、日本の伝統文化の意義など自分が学んだことを地域の人々や観光客の方々に発信していく。子どもたちが、地域に誇りを持ち、自分から地域に働きかけることを考えられるように取り組んでいきたい。

### (4) ESD との関連

- ・学習を通して主に養いたい ESD の視点

【多様性】：茶道には、様々な意味や由来があることに気づくことができる。

【公平性】：時代を超えてお茶や茶道が伝わってきたことを考えることができる。

【責任性】：お茶の由来や製法、茶道について調べることで地域に誇りと愛着をもち、自分

たちが地域のために活動することが大切であることを考え、そのための活動を進めることができる。

・学習を通して主に養いたいESDの資質・能力

長期的思考力…お茶の由来や茶道のおもてなしの心の大切さを知り、これから地域のためにできることを考える。

協働的行動力…お互いの意見を出し合い、みんなでお茶会の計画実践を行い、みんなで地域のために行動することができる。

・ESDで育てたい価値観 世代間の公正

・SODsとの関連 目標11 住み続けられる街づくりを

#### 4. 評価基準

ア知識・技能	イ思考・判断・表現	ウ主体的に取り組む態度
① お茶の由来や茶道についてその意味や歴史、おもてなしの心について理解している。	① お茶の由来や茶道について工夫や努力、おもてなしの心の大切さについて考えたり表現したりしている。 ② これからの地域のために、自分たちのできることを考え、表現している。	① お茶の由来や茶道について関心を持ち、意欲的に調べたり実践したりしている。 ② 自分たちの地域を大切にしていこうとする意欲と行動力をもっている。

#### 5. 単元展開の概要

主な学習活動	学習への支援	評価・備考
1. 「なぜ、高時小学区でお茶が飲まれているのか。」について考える。 ・経験を振り返り、疑問や興味を持ったことを話し合う。	・今までの経験や家族との話を振り返り、疑問や興味を持ったこと、茶道について知りたいことなど視点を広げて考えられるようにする。	ウ①
2. 地域の方に話を聞き、高時小学区でお茶が飲まれるようになった由来を知る。	・最澄からお茶が伝わったことや石田三成の三献の茶について古くから伝承されていることに気づかせる。	ア①
3. お茶の先生に話を聞き、茶道のおもてなしの心や作法について知る。	・茶道の心得や作法の意味について知り、学習への意欲を持たせる。	ウ①
4. 地域の方に話を聞いたり実践したりして、茶摘みの仕方、手揉み茶の仕方を知る。	・茶畑の手入れや茶摘みの仕方などについて工夫や努力に気づ	ア①

<p>5・お茶の先生に教わって、盆点前の作法を知る。(実技)</p> <p>6, 七夕茶会を開く。</p> <p>7. 秋の茶会に向けておもてなしの心や野点の出し方を知る。(実技)</p> <p>8. 市のホームページで煎茶の入れ方を調べる。</p> <p>9. 紅葉祭りの高時茶会に向けて煎茶の出し方を知る。(実技)</p> <p>10. 高時茶会でたかとき茶の説明やお茶の由来、お花の説明、お軸の説明など学習したことを発表できるようにする。</p> <p>11. 高時茶会を開く。</p> <p>12. お茶の先生に茶道を志した思いやお茶碗や抹茶のことを詳しく聞く。</p> <p>13. お茶碗づくりの講師の方に志した思いを聞くとともに、自分たちが使うお茶碗を製作する。</p> <p>14. 盆手前ができるようになる。 (実技)</p> <p>15. 初釜茶会で茶会の雰囲気を経験する。</p> <p>16. 自分たちにできることを考える。</p> <p>17. 時っ子茶会で全校のおもてなしをして、自分にできることを発表する。</p> <p>18. 卒業茶会で学習のまとめをする。 (実技)</p>	<p>かせる。</p> <p>・下級生をおもてなしできるように意識して取り組めるようにする。</p> <p>・おいしい煎茶の入れ方を調べ、実践できるようにする。</p> <p>・学習したことをわかりやすくまとめ「たかとき茶」のよさや地域のよさが伝わるように工夫する。</p> <p>・茶道の意義を知り、学ぶ意欲を高めたりや茶道のよさを深く感じる。</p> <p>・お茶碗よさや茶碗づくりのこつを知り、思いを込めて体験する。</p> <p>・地域のお茶のよさや茶道の奥深さ、おもてなし心の大切さを学び、これから自分たちにできることを考えてまとめる。</p> <p>・時っ子茶会で自分の思いが発信できるようにする。</p>	<p>ア①</p> <p>ウ①</p> <p>ウ①</p> <p>ア①</p> <p>ウ①</p> <p>イ①</p> <p>ウ①</p> <p>イ①</p> <p>ウ①</p> <p>ウ①</p> <p>イ②</p> <p>イ②ウ②</p> <p>ウ①</p>
--	---	---

